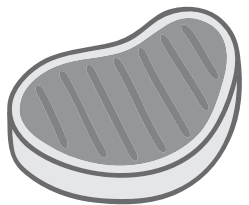


お肉の豆知識



ホームガス課 森本 英幸

①バーベキューで話したくなる豆知識

普段何気なく目にして口に出しているもので、意外に知らないことって多いですね。例えば、「**和牛**」と聞くと**日本で生まれ育った日本の牛**のように思いますが**それは間違いです**。思い浮かべてください。スーパーで売っているお肉に「**アメリカ産和牛**」なんてどこの牛なのかわからないような表記があることを……。和牛とは牛の「**品種**」のことで、**外国で育っていても品種が和牛なら「○○産和牛**」となるのです。

また、「**国産**」という表記をみて和牛だと思っている方、**それも間違いです**。「**国産**」は日本で**3ヶ月以上**育てられた牛を指しますので、**品種が和牛である必要はありません**。また、他の国で生まれた牛でも“**3ヶ月以上**”日本で育てられれば「**国産牛**」となるのです。いやあ、とってもややこしい……。

②ホルモンの豆知識

ホルモンの語源、ご存知ですか？ こういった語源の旅には諸説あってどれが本当かわからない所はありますが……

ホルモン語源 その1

大阪弁で「捨てる」ことを「**ほかす**」「**ほる**」といいます。もともと赤身は食べられていましたがホルモンは捨てられるお肉でした。ホルモン料理は**大阪が発祥**で、「**捨てるもの**」が大阪弁で「**ほるもん**」となり、それがそのままカタカナのホルモンになったと言われています。

ホルモン語源 その2

その昔、内蔵系の料理は良いイメージをもたれることがなかったため、良いイメージをつけるために動物の体内器官を活発にする物質の総称であるホルモン（ドイツ語は **hormon**、英語は **hormone**）を付けたと言われています。

ホルモン料理の商標登録

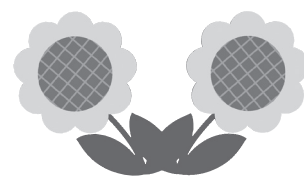
他の人に同じ名前を使われる偽装を防いだり、ブランド力アップのために取られる商標登録。「**ホルモン料理**」も商標登録されているのですが、これが意外な会社が商標登録をしているのです！ 関西の方ならご存知かと思いますが、**オムライスで有名な北極星**。こちらが「ホルモン料理」の商標登録をされているそうなのです！ 北極星もホルモンも同じ大阪が始まりとはいえ、ちょっと意外でしたね。

③夏バテに有効なお肉

夏バテ気味だな、と思ったら胃腸を労わるために負担の少ない優しい食べ物を選ぶ方が多いと思います。**下痢などの症状がすでに現れている場合は、消化にいい物を食べる必要もありますが、疲れや体の怠さを感じている時であれば、**そのような食べ物は体力がつかないため**返って逆効果**となってしまいます。

夏は気温が高いので**基礎代謝が上がります**。基礎代謝が上がると体内の**たんぱく質が多く消費**され、エネルギーの消費も増えるので血液中の糖분을エネルギーに換える**ビタミン B1 も必要**となります。このことから、失われた**たんぱく質**とエネルギーを生み出す**ビタミン B1** が含まれた食べ物を摂取することが、**夏バテには有効**と考えられます。

そしてその2つが含まれている食べ物は、**豚肉**です。疲れを感じ始めた頃に豚肉を食べて、疲労回復を促すことで夏バテを回避することができるのです。



ミニひまわり

総務課
橋本 純子

ひまわりといえば皆さんは何を思い浮かべますか？ 真夏の太陽？ スイカ？ 暑い夏？ 私は遠い昔、小学生の時にひまわりを植えた覚えがありますが、見上げるほど背が高く、てっぺんに大きな花を咲かせるイメージがありました。しかし、今は品種改良が進み、背が低いひまわりもあるのだと知りました。

実はごく最近用事がありホームセンターに立ち寄ったのですが、そこには背の低いひまわりがたくさん置いてありました。あまりのかわいさに目を奪われてしまい、悩んだ挙句、ミニひまわりを購入しました。

背の低いものなので地面に植えることもなく、室内で育てていますが、脇芽から次々と花を咲かせてくれるので何度も花を楽しむことができます。今回はそんなミニひまわりについてご紹介したいと思います。

●ミニひまわり●

科名：キク科ひまわり属

原産地：北アメリカ

意外にキク科の植物は多く、ガーベラやカモミール、コスモスなどもキク科の植物です。確かにどれも似た花ですね。

●特徴●

・花の大きさが10cmほどで草丈が25cm～30cm程度のコンパクトサイズ

・花粉が少なく、種をつけにくい性質

・花は黄色が一般的ですが赤褐色、黄褐色などもある

・普通のひまわりに比べて根の張りが弱い

本当に小さくかわいらしいです。光さえ当たれば室内でも十分育ってくれます。

【栽培環境】

・日光が良く当たる場所

・風通しの良い場所

・水やりは土が乾いてからしっかりとあげる

植物を育てるときの基本的な条件だと思いますのでそんなに難しくありません。

【種まきから栽培される場合】

・種まきの時期は4月から7月ごろが最適

（開花の時期は6月から9月ごろまで）

すでに種まきの時期は終わってしまったのでまくことはできませんが、来年は種まきからチャレンジしてみたいです!!

個人的な意見ですが、ひまわりは見るだけで元気をもらえる魅力的な花だと思います。

また、花の色も明るいのでお部屋に置いた時にも存在感があり、部屋自体も明るく感じますのでお勧めです♪

●最後に●

花の力は無限大と言われるほど癒しの効果があります。フラワーセラピー（花で心を癒す）というものがあるそうです。五感を使って花やハーブなどと接することで脳を活性化させ、ストレスや悩みから解放してくれるというのですが、医療の現場などでも用いられているそうです。

花によってもゴージャスなものから可憐なもの、また色や形、匂いなど色々ありますが種類を変えるだけでも気分転換になりますね♪

花があることで日々の生活に癒しを与え、さらに気分や雰囲気自体を明るくしてくれるのであれば取り入れてみるのも良いと思います。私も花を枯らさないように日々水やりを頑張りたいと思います（笑）。

アポロ興産で不動産業をはじめました！



こんにちは！ リビングサービス課の岡本です。毎日暑い日が続きますね^^; この度、アポロ興産で不動産業を始めさせて頂く事になりました。

以前からお客様の大切な土地や建物の管理や修繕をさせて頂いている中で、「家を継ぐ者がいないので後には売ろうと思っているの……」や「市内に立地の良い土地ないかね〜？」というような声をよく耳にします。

弊社では、今まで通りのリフォームに加えて中古物件の売買仲介や土地探しのお手伝いまでさせていただきます。家の事でお困りの際は是非お問合せ下さい★